

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 727 道徳 827 道徳 927	中学生の道徳 明日への扉 1年 中学生の道徳 明日への扉 2年 中学生の道徳 明日への扉 3年
取扱内容 〔学習指導要領の道徳〕の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳について 第1学年では、命の偶然性、連続性、有限性とはどのようなことか、自分にとって命よりも大切なものがあるとするればそれはどのようなものかを考える活動等、第2学年では、一人一人の生命のつながりとはどのようなことか、生命は遠い昔から受け継がれ次の世代へ渡されていくとはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、かけがえのない命をどのように輝かせていきたいか、自分の命は誰のものだろうかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1学年では、自然を守りながら人間にとって便利な生活を続けていくことはどのようにすれば可能かを考える活動等、第2学年では、自然環境の課題に対してどのようなことに取り組んでいくかを考える活動等、第3学年では、環境問題を解決するために自分にできることはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1学年では、自分が紹介したい日本の文化や伝統はどのようなものかを考える活動等、第2学年では、日本の文化や伝統を守り受け継いでいくために大切なことはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、自分の郷土についてどのような思いを抱いているかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1学年では、SNSを扱い、友達とのやりとりではどのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動等、第2学年では、メールやインターネットを扱い、匿名でのコミュニケーションで大切なことはどのようなことかを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、ルールやマナーを守るとどのようなことにつながるかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、生徒が考えたことを記述する「鉛筆マーク」を配置し、問題解決的な学習については、問題解決的な学習の道筋を紹介する「深めよう」を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは7教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は180ページとなっている。 第2学年～Aは8教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは8教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は184ページとなっている。 第3学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは6教材、全体で41教材であり、総ページ数は184ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、成長を振り返り、課題や目標を見つける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようにするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「町工場から宇宙へ」など8箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめ問題については、人を差別したりいじめたりしてしまうことがあるのはなぜなのかを考える活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。